



くるみ乳児院だより

第36号

社会福祉法人大阪福祉事業財団 くるみ乳児院 発行責任者 川守田 繭美
〒538-0054 大阪市鶴見区緑1丁目18-30 TEL:06-6180-5062
ホームページはこちら→



クッキー作りに
チャレンジ!!
上手にできたよ♪

くるみ乳児院のめざすもの

“子どもの権利条約”に基づき、すべての「子どもの最善の利益」が尊重されることを基本にしています。子どもたち一人ひとりの違いを認め、子どもの気持ちに寄り添う養育を行っています。

地域の子育て支援の拠点になることをめざして

くるみ乳児院の玄関にある「リキュウバイ」の木に白い花が咲き始めました。その花を見ると、新しい年度が始まるなど感じます。今年度、新しい職員を3名と異動管理者1名を迎えました。乳児院は、乳幼児を24時間365日体制で養育し、専門的なケアを行う児童福祉施設です。改めて、こどもたち、保護者、そして地域の子育て支援を多様な専門職と力をあわせて頑張りたいと決意しています。

さて、私たちは、社会的養育推進計画の具体化に向けて、今後5年の間に、1ユニット6人～4人をめざしつつ、多様な子育て支援に答えられるよう、事業を展開していくことが求められています。大阪においては、様々な理由でご家族から離れて生活をするこどもの数は減少していない現状があります。乳幼児のこどもたちを安心、安全な環境のもとで健やかに育つことを保障するとともに、保護者や里親さんたちがこどもたちと再び家族として生活できるように、専門職がチームとなって支援していきたいと思います。また、地域の子育て支援の拠点としての役割も担っています。地域のみなさまに乳児院を知って頂き、いつでも相談していただけるような取り組みも実施していきたいと考えております。

まずは、同法人のすみれ乳児院とともに事業をどう進めていくのか具体的に取り組むために、支援内容の交流や職員間交流を深めていき、支援の質の向上を目指したいと思います。また、すみれ乳児院が事業拡大した建物の名前「やまぼうし」の花言葉にあるように、地域との「結びつき」「信頼」を深めて、令和9年に完成予定の「東部こども相談センター」との連携で地域の子育て支援に責任を持つ施設をめざしていきたいと思います。

施設長 かわもりた

くるみ乳児院のお正月♪



くるみ乳児院では、手作りおせちをみんなで食べます。初めて見る料理も多くありましたが、職員がおせち料理の名前を伝えると、「これ！」と興味をもって指をさして、たくさん食べていました。

職員が製作した「くるみ神社」へ、初詣にも行きました。鈴を鳴らすのが楽しくて何度も紐を揺らしたり、壁に飾っている手作りの絵馬を指差ししたり、こどもたちは興味深々でした。

今年も笑顔いっぱいの一年になりますように！

保育士 わたたに



わくわくいっぱい!! 冬のお出かけ

2月に数名のこどもたちがお出かけに行きました。バスに乗ってキッズランドに遊びに行ったり、イオンモールにファーストシューズや誕生日プレゼントを買いに行きました。遊びのコーナーでは、はじめて見る遊具に大興奮！元気いっぱい体を動かして遊んでいました。買い物では、たくさんある玩具の中から「これ！」と欲しいぬいぐるみを自分で選び、大事に持っている姿に成長を感じました。

また楽しい思い出作りに行こうね。

保育士 のぐち



鬼はそと！福はうち！



2月3日の節分に、鬼がお部屋にやってきました。入ってきた時はビックリして固まっていたのですが、豆に見立てたボールを手に持ち、勇敢にボールを一生懸命投げたり、泣いて大人に抱きつきに行ったり、棚の後ろに隠れたり、身体を丸めてしゃがみこんだりしながら、それぞれ自分の身を守っていました。昼食の手巻き寿司は「おいしい！」と笑顔でたくさん食べていました。

今年も1年子どもたちが健康で元気に過ごせますように。

保育士 なかえ



ひなまつり



3月3日はひなまつり。くるみ乳児院ではお昼ご飯にちらし寿司を食べ、おやつには甘酒を飲みました。大きなちらし寿司を見ると「おおきいねえ！」と大興奮。甘酒はのめるかな？という職員の心配をよそにゴクゴクおいしそうに飲む姿をみせてくれました。童謡「ひなまつり」の音楽を流し、ひなまつりの雰囲気を楽しみました。ひなまつりがとても楽しかったのか、翌日になっても「あかりをつけましょ、ぼんぼりに…」と口ずさむこどももいて、大人も笑顔になりました。

保育士 おにつか



2025年度 春のつどい

1年でいろいろなことができるようになりました♪

3月20日に保護者にも参加いただける行事、春のつどいを行いました。

たんぽぽルームでは、こどもたちは猫や犬、怪獣をモチーフにした可愛いマントを着て、参加しました。ふれあい遊びやペープサート（いないいないばあーさん）を行い、最後にみんなで一緒に「いないいないばあー」をしました。あやすとよく笑うこどもたちの姿をみて、大人もほっこりしました。

もも・さくらルームでは、「山の音楽家」をテーマにした出し物を披露しました。「山の音楽家」に登場する動物の帽子を被り、自分たちで色付けした色とりどりのTシャツを着て、楽器をもって保護者の前に登場しました。はじめは慣れない雰囲気に緊張していましたが、音楽が流れ始めると音に合わせて体を左右に揺らし、最後まで楽しそうに楽器を鳴らす姿に、みんな笑顔になりました。

どちらの部でも、「劇団・ファミリーひみちゃたい」様による人形劇と、一年の成長をまとめたムービーも鑑賞しました。人形劇は15～20分ほどの作品でしたが、こどもたちは見たことのある動物が出てくると指差したり、人形劇の世界に吸い込まれるかのように前のめりになって鑑賞していました。ムービー鑑賞でも、写真や動画を指さして一生懸命お話してくれるこどもたちの姿に会場全体が温かい雰囲気に包まれ、保護者の方々と一緒にこどもたちの成長を共有できたことを嬉しく思いました。これからもみんなで笑顔溢れる楽しい毎日を過ごしていこうね。

保育士 きりやま



退職者・異動者からのご挨拶

すみれ乳児院、くるみ乳児院と長年勤めたこの施設を退職することになりました。

毎日、子どもたちと触れ合える生活は、私にとって心地よく幸せな時間で、あっという間に月日が経っていました。くるみ乳児院では地域の相談、子育て支援、家庭支援などをさせて頂きました。今の制度の中では対応が難しく思う事もありましたが、できる限り寄り添い対応できるよう心がけてきました。これから乳児院は誰もが幸せな未来に向かって行けるように、新たな挑戦が始まろうとしています。今後も地域の方、子ども達と職員が健康で笑顔で過ごせますように願っております。長い間、本当にありがとうございました。

前家庭支援専門相談員 はまだ

この春でくるみ乳児院を退職させていただくことになりました。

2017年の初夏にくるみ乳児院が開設しました。子どもたちにとっての新しい「おうち」に私もわくわくした気持ちになりながら、木のぬくもりいっぱいにくるみ乳児院に入った時のことを今でも思い出します。

同じ年に入職してから9年間、たくさんの子どもたちや保護者の方々との出会いがありました。春には鶴見緑地公園でお花見、夏にはベランダでプールをしたり、お祭りにも参加しました。秋には遠足、冬にはクリスマス会など、さまざまな行事を通して保護者の方とも子どもたちの成長を喜び合うことができました。コロナ禍では、職員みんなで子どもたちが楽しめるいろいろな取り組みを考えましたことも良い思い出です。

すくすく成長する子どもたちにたくさんの元気をもらい、かけがえのない時間を過ごすことができたことに心から感謝しています。これからもくるみ乳児院で過ごす子どもたちが、いつも笑顔でのびのびと大きくなっていくことを願っています。

前たんぼぼ主任 わたなべ

くるみ乳児院の関係者のみなさま、3年間という短い間でしたが大変お世話になりました。地域の公園掃除や盆踊りなどへ、子どもたち、職員と一緒に楽しく参加させて頂き、また、当院の「ほっこりひろば」「くるみマルシェ」などでも交流ができ、思い出多き日々になりました。同法人のすみれ乳児院に異動となりましたが、これからも、くるみ乳児院が、子ども、保護者の安心できる、そして地域とつながり「ほっこり」できる居場所となるよう期待しています。

前副施設長 ふじかわ



Kくんへ

Kくんとの思い出はたくさんありますが、いつもお友達や大人のことを気にかけてくれるやさしい子でした。周りのことをよく見ていて、まだ言葉がでていなかった時期は、泣いているお友達がいるとその子が大事にしているものを見つけて側に置いていた姿が印象深く残っています。少し分かりにくいやさしさかもしれないですが、そんなKくんらしいやさしさを一緒に過ごした2年間、たくさん見ることができました。これからもKくんらしくおおきくなってください。

保育士 きむ

Yちゃんへ

いつもにこにこ笑顔がいっぱいなYちゃん。だけど不安が強く、笑顔だけ繋いでいる手はぎゅっと握られていることもよくありました。そんな心配とは裏腹に、Yちゃんは強くたくましく大きくなったね。公園で知らないおともだちと元気いっぱい走り回る姿や、すこし緊張しながらも新しいことにチャレンジする姿に、胸が温かくなったのを覚えています。

これからたくさんの出来事があると思いますが、Yちゃんらしくいろいろな経験をして大きくなってね。

保育士 はらだ

大好きなYちゃんへ

はじめて出会ったのはYちゃんが新生児の時でした。とても小さくて、目をキラキラさせて一生懸命ミルクを飲む姿がとても可愛らしかったです。少し大きくなると満面の笑みで走って抱っこを求めてくれたり、お手伝いが大好きで「きりやまさんゴシゴシする」と洗いや洗濯を手伝ってくれたことがとてもいい思い出です。ここで過ごした日々は短いけれど、Yちゃんと出会えたことは私にとって大きな喜びです。これから沢山のひとと出会い、いろいろな経験をしていくと思います。どんなときも、あなたはあなたらしくそのままいてください。いつまでもYちゃんの幸せを願っています。

保育士 きりやま

Hくんへ

出会って約4年。Hくんとはたくさんの初めてを経験しました。一緒にドーナツを食べに行ったり、バスや電車に乗ってお出かけをしたり。そのどれもがHくんにとって大好きで嬉しかった経験になっていることがとても幸せで、「つぎはどんなことをしようか」とお話しする時間が宝物のように輝いていて、大切な思い出です。

これからいろんなことがあると思うけれど、Hくんらしくたくさんの経験をして大きくなってね。

保育士 はらだ

Mくんへ

大好きだった担当が変わって不安だったMくん。戸惑いもあったと思うけれど、初めてお出かけした時はとても喜んでくれていたね。お出かけした後も、遊びに行ったことを覚えていて「また行こうね」とたくさんお話をしてくれたことも、とても嬉しく思いました。お友だちにも職員にも優しく、そして甘えん坊なMくん。これからもすくすく大きくなって元気なMくんになってください。

保育士 たけだ

里親相談会・パネル展のご案内

「里親パネル展と相談会～オリジナル缶バッジ制作～」

日時：5月23日（土）10:00～16:00

場所：イオンモール鶴見緑地店 4階トイザらス横



「里親ミニ講座&里親相談会」

日時：5月30日（土） 11:00～12:00

15:00～16:00

場所：東部里親支援センターmikata 事務所

※午前と午後、2回開催します。事前申し込みが必要です。



たくさんのイベントを開催していますので、

里親に興味がある方は下記のQRコード、ホームページからご確認ください。

<https://www.mikata-satooya.com/>

里親支援センターmikataのホームページはこちら→



すみれこどもケアルーム（病児・病後児保育室）

すみれこどもケアルームは、こどもが病気やけがで登園・登校出来ず、さまざまな理由で家庭での看護・保育が困難な時に利用出来る病児・病後児保育室です。職員はこどもの病状や様子を観察し、嘱託医と密に連携を取り、保護者から預かったこどもの生命を何事もなく無事に保護者の元にお返しすることを最大の目的としています。

毎月第一土曜日に登録会を開催しています。まずはお気軽にお電話ください。

住所・連絡先

住所：大阪市城東区古市 1-20-2

電話：06-6934-8868



対象

生後6か月から小学6年生まで

※病児（病気の初期）・病後児（回復期）の両方をお預かりできます。

ホームページでも、日々の利用人数と開室状況、登録会情報を随時更新しています。

すみれこどもケアルーム
ホームページはこちら→



くるみマルシェ

財団後援会は、当施設をはじめとする法人の社会福祉に関連する活動や取り組みを地域の方々に知っていただくこと、地域の人々が繋がることのできる場を作ることを目的として活動しています。この活動の一環として、くるみ乳児院支部ではくるみ乳児院玄関前でくるみマルシェを定期的で開催しています。買い物やゲームを楽しんでいただけるコーナーだけでなく、椅子に腰かけてほっと一息ついていただけるコーナーも用意しています。2025年度は5回開催することができました。来年度も開催予定ですので、ご都合よろしければお越しください。



ほっこりひろば



1月26日にホールでほっこりひろばを開催しました。当日は4組8名の参加がありました。くるみ乳児院にある室内用の滑り台やおもちゃコーナーを準備し、遊んでいる間におやつを食べてお話ししたり子どもたちの様子を見守ったりとほっこりした時間を過ごしました。他にも、鬼のお面の製作をしていただく時間も作りました。作ったお面をつけて写真を撮れるフォトスポットは大好評でした。撮影した写真は記念にお持ち帰りいただきました。来年度も楽しい企画を考えています。



保育士 にしむら



『ショートステイ事業』

(大阪市の事業)



くるみ乳児院では、地域のニーズを受け止めながら子育て支援を行っています。父母などが病気などで一時的にこどもの養育が困難になった時に宿泊をとまなうかたちでお預かりしています。利用年齢は2歳未満です。感染症の関係等でお預かりできないこともあります。詳細についてはお問い合わせください。

くるみ乳児院 Instagram



@KURUMINYUUJIN

くるみマルシェなどのイベントや、こどもたちの日々の様子などを発信しています。

ご寄付 ありがとうございます

◎ 大阪府共同募金会（赤い羽根共同募金）様
 「令和7年度 地域の子どもの福祉のための助成事業」
 環境整備・防災グッズ・テント
 すみれこどもケアルーム パンフレット制作
 身長計・体重計・吸入器
 音響機材（アンプ・マイク）
 フードバンク 等



◎ 公益法人クジラ育英金助成金 様
 ・春のつどい行事人形劇
 「劇団・ファミリーひみちゃたい 様」 公演料
 ・綿毛布 18 枚



◎ 工綿株式会社 様
 タオル
 ◎ 花王株式会社 様
 紙おむつ 洗剤 折り紙
 ◎ 堂島アパ`サ`管理株式会社 様
 カレンダー
 ◎ SALONIA 様
 ドライヤー
 ◎ P&G ジャパン合同会社 様
 レノア柔軟剤
 ◎ 明治ホールディング株式会社 様
 ミルク缶



◎ 日本ベビーフード協議会 様
 ベビーフード
 ◎ KIT 合同会社 様
 寄付金
 ◎ OsakaBookOneProject 様
 絵本
 ◎ 匿名 柑橘類
 ◎ 匿名 寄付金
 ◎ 匿名 タオル類



福祉のひろば

あなたも福祉が好きになる！！
 そんな1冊を手にとってみませんか？



職員も福祉のひろばを使って
 学びを深めています。

興味のある方は下記まで問い合わせください。

〒538-0054
 大阪市鶴見区緑1丁目18-30
 Tel 06-6180-5062
 くるみ乳児院 福祉のひろば 係

くるみ乳児院

後援会

2026年度
 会員募集

大阪福祉事業財団後援会は、2001年12月に「人を人として大切に
 する本当の社会福祉の実現をめざして、結びつきと絆を大切に、輪を
 広げましょう」と呼びかけて結成されました。後援会では、法人各施
 設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流
 を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす協力・共同の取り
 組みを進めています。当法人の大阪府下の多くの施設で老朽化が進ん
 でいますが、皆様のご協力で、これまでに12施設程の建て替えをす
 ることができました。国や地方自治体は財政難を理由に、福祉・教
 育・医療などの予算を削減し、施設建て替え時の自己資金の割合も大
 きくなっています。

今後も大阪福祉事業財団は、皆様の物心両面にわたるご支援・ご協
 力を必要としております。まだ入会されていない方は、ぜひ入会して
 いただきますよう、宜しくお願いいたします。

*個人会員 1口 3,000円 *団体会員 1口 10,000円

大阪福祉事業財団と社会福祉の発展に協力し、応援してくださる方
 は、くるみ乳児院（06-6180-5062）までご連絡ください。